

第11回 史跡江戸城外堀跡保存活用計画策定委員会 会議要録

- I 日 時 : 令和8年7月6日(月) 18時30分～20時00分
- II 会 場 : 千代田区役所 4階 401会議室
- III 出席者 : 委員長 : 谷川 章雄(早稲田大学人間科学学術院名誉教授)
副委員長 : 吉田 ゆり子(東京外国語大学総合国際学研究院名誉教授)
委 員 : 齋藤 慎一(公益財団法人東京都歴史文化財団・江戸東京たてもの園
学芸員(専門調査員))
委 員 : 窪田 亜矢(東北大学大学院工学研究科教授)【オンライン出席】
欠席委員 : 杉崎 和久(法政大学法学部政治学科教授)
欠席委員 : 小野 良平(立教大学観光学部観光学科教授)
欠席委員 : 中澤 克昭(上智大学文学部教授)
欠席委員 : 佐藤 信 (東京大学名誉教授・横浜市歴史博物館館長)

※順不同、敬称略

オブザーバー

文化庁 文化財第二課 史跡部門【オンライン出席】
東京都 教育庁地域教育支援部 管理課 埋蔵文化財担当

事務局

千代田区 地域振興部 文化振興課
港区教育委員会事務局 教育推進部 図書文化財課
新宿区 文化観光産業部 文化観光課

事務局補助

株式会社パスコ

IV 議 事

1 確認事項について

【確認事項 1】 前回委員会の議事録の確認

- ・事務局より、第 10 回委員会の議事録の修正箇所について報告した。
→これをもって第 10 回委員会の議事録を確定とした。

【確認事項 2】 史跡等の本質的価値の修正趣旨について

- ・事務局より、前々回委員会及び前回委員会で審議した「史跡等の本質的価値」について修正案を報告した。前回委員会では本質的価値を 3 項目に減らした案を提案したが、意見を踏まえて、改めて本質的価値を 4 項目、本質的価値に付随する価値を 2 項目に整理して再度提案した。
→本質的価値 5 項目、本質的価値に付随する価値 2 項目について了承された。一部表現について修正すべきとの指摘があった。

2 審議事項について

【審議事項】 計画対象範囲と地区区分(ゾーニング)について

- ・事務局より、史跡江戸城外堀跡の保存活用を検討していく上での対象範囲について、資料をもとに説明した。外堀が江戸城の一部であるという価値を踏まえ、計画第 2 章「史跡等の概要」のうち、特に「歴史的概要」においては、江戸城や指定地外の外堀についても記述をすることとした。また、史跡指定地外においても今後、関連する遺構が発見される可能性があるため、保存活用の対象範囲とは明記しないものの、適切な対応をとることができるような記載にしていこうことを説明した。保存活用の対象範囲となる史跡指定範囲は 16 地区に区分(地区区分)して検討する方向性を説明した。
→行政が施策を講じる対象範囲を原則、史跡指定範囲とすることについて了承された。そのうえで、外堀が江戸城の外郭であるという価値や、かつての外堀の一部しか史跡指定されていないという経緯を踏まえ、適切な表現に修正すべきという指摘があった。そのうえで、地区区分＝ゾーニングという表現はふさわしくないため、「地区区分(ゾーニング)」とはせず、地区区分はあくまでも史跡指定地を 16 地区に分けた最小単位である、一方、ゾーニングは今後、保存活用を検討する上で類似するエリアをまとめる場合に使用する言葉として考えていく方がよいという指摘があった。

3 連絡事項について

- ・次回委員会は 10 月頃の開催を予定しているが、改めて日程調整を行うこととなった。